

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ローゼルこどもDayさぼーとⅢ			
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～	令和7年年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和6年年 12月 1日		～	令和7年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	静と動の使い分けができるように、活発に動く時間と気持ちを落ち着かせる時間を区別し、支援を行なっている。	気持ちを落ち着かせる際にサイレントトレーニング（瞑想）を行なっている。 自由時間では思い切り体を動かしている。	サイレントトレーニングの時間を1分から2分に延びし集中力を高めていく取組を行う。 身体を動かし身体機能を高める取組を行う。
2	室内での運動プログラムを工夫して行い、児童と一緒に考えながら活動を行なっている。	運動プログラムがマンネリ化しないように児童の気持ちに寄り添いながら活動を行なっている。 全員が参加できる活動を日々行なっている。	運動プログラムによる効果を児童にも理解し身体のどの部分を鍛えている。また鍛えることにより出る効果についての説明を行う必要がある。
3	運動プログラムを通して5領域に沿った刺激を受けられ、楽しく活動できる環境。	視覚や聴覚からの情報で認知し行動できるか。社会性・人間関係など運動や遊びを通して刺激を受けることができる。	遊びの中で他者との関わりを増やしコミュニケーション能力を身につけられるよう取り組む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所に園庭がないためボール遊びや走る活動に制限がある。	事業所が道路に面しているため外での活動スペースの確保が難しい。	隣接する事業所に園庭があるためそこを利用する。
2	本人の特性や状況に応じて個別での対応ができる職員とまだ対応できない職員の育成。	個々の細やかな情報共有統一したサービスの提供が課題。	個々の特性に合わせた発達障害についての勉強会やサービスの質の向上に向けて取り組んでいく。
3	外出支援を行うことが少ない。	外出支援の計画を立てていなかった。 外出先の安全確保が困難なため。	外出支援計画をたて外出支援を行えるようにする。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ローゼルこどもDayさぼーとⅢ			
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～	令和7年年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	令和6年年 12月 1日		～	令和7年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	静と動の使い分けができるように、活発に動く時間と気持ちを落ち着かせる時間を区別し、支援を行なっている。	気持ちを落ち着かせる際にサイレントトレーニング（瞑想）を行なっている。 自由時間では思い切り体を動かしている。	サイレントトレーニングの時間を1分から2分に延びし集中力を高めていく取組を行う。 身体を動かし身体機能を高める取組を行う。
2	室内での運動プログラムを工夫して行い、児童と一緒に考えながら活動を行なっている。	運動プログラムがマンネリ化しないように児童の気持ちに寄り添いながら活動を行なっている。 全員が参加できる活動を日々行なっている。	運動プログラムによる効果を児童にも理解し身体の一部を鍛えている。また鍛えることにより出る効果についての説明を行う必要がある。
3	運動プログラムを通して5領域に沿った刺激を受けられ、楽しく活動できる環境。	視覚や聴覚からの情報で認知し行動できるか。社会性・人間関係など運動や遊びを通して刺激を受けることができる。	遊びの中で他者との関わりを増やしコミュニケーション能力を身につけられるよう取り組む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所に園庭がないためボール遊びや走る活動に制限がある。	事業所が道路に面しているため外での活動スペースの確保が難しい。	隣接する事業所に園庭があるためそこを利用する。
2	本人の特性や状況に応じて個別での対応ができる職員とまだ対応できない職員の育成。	個々の細やかな情報共有統一したサービスの提供が課題。	個々の特性に合わせた発達障害についての勉強会やサービスの質の向上に向けて取り組んでいく。
3	外出支援を行うことが少ない。	外出支援の計画を立てていなかった。 外出先の安全確保が困難なため。	外出支援計画をたて外出支援を行えるようにする。